

- 1 話を聞き、考えを伝えることができる人
- 2 自ら学ぶ人
- 3 正しく行動できる人
- 4 心豊かなたくましい人



- I-1 私たちは、第6次福島県総合教育計画において示された特別支援教育の基本的方向性「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するために、合理的配慮を踏まえ保護者や関係機関等と連携して作成する「個別の教育支援計画」を活用し、一人一人が自立し社会参加する資質を育てることに努めます。
- I-2 私たちは、「個別の教育支援計画」を基に、一人一人の実態に応じた、「個別の指導計画」を作成し、関係職員が共通理解の下に、確かな学力と豊かな心の育成に努めます。
- I-3 私たちは、聴覚障がい教育の専門性をより高め、授業の充実に努めます。特に一人一人の実態を踏まえて、言語力(言語活動をとおして、言葉の意味を理解し主体的に思考する力)と自己指導能力(他者とのかかわりとおして、自ら考えて行動する力)の育成に努めます。

II 私たちは、健康や安全に配慮した教育環境の整備に努め、事故を未然に防ぐとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに努めます。

III 私たちは、小・中学校等における特別支援教育を推進するため、本校分校や関係機関と連携し、聴覚支援学校の専門性を活かした支援を行うとともに、校内における保護者や子どもたちの支援にも積極的に取り組み、センター的機能の充実に努めます。



今年度の取り組み－主体的に思考する力と自ら考えて行動する力の育成－

校長 芳賀 孝美

I-1 自立と社会参加に向けて

- 1 幼児児童の実態に応じたことばの指導を充実させ、人とのかかわり合うためのコミュニケーション能力を育成します。(学部)
- 2 「個別の教育支援計画」を基に幼児児童の実態に応じた指導・支援を実施し、自己実現を図っていくための自己指導能力を育成します。(学部)
- 3 交流及び共同学習の一層の充実のために「個別の教育支援計画」を活用し、交流相手園・校と合理的配慮を共有し、幼児児童同士が相互理解を深めて、主体的にかかわり合えるように支援をします。(教務、学部)

I-2 確かな学力、豊かな心の育成

- 1 複数の教員間、保護者、関係機関が連携し、必要に応じてケース会議を実施し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の見直しや合理的配慮の確認を行います。(教務)
- 2 授業の中で作文活動や話し合い等の学習場面を意図的に設定し、「話す」「書く」「読む」力を育成します。(学部)
- 3 体験的活動の充実に努め、ことばの学習とともに、主体性や意欲を育成します。(学部)

I-3 聴覚障がい教育の専門性向上・授業の充実

- 1 聴覚活用と多様なコミュニケーション手段(手話を含めた)の研修を実施し、子どもの「きこえ」やコミュニケーションの実態に応じた指導・支援の充実に努めます。(研修)
- 2 聴覚補償や情報保障機器の活用に関する研修を実施し、授業に活かします。(研修、地域支援セ)
- 3 外部の専門家を招聘し、教員自ら課題意識を持って授業研究会を実施し、授業力の向上を目指します。(教務、研修)

II 安全で安心な学校づくり

- 1 教育活動が安全な環境で行われるように、校内外の安全点検等を行い、幼児児童の安全と安心の確保に努めます。(保健)
- 2 食育指導とともに安全で楽しく充実した学校給食を実施します。(保健)
- 3 情報セキュリティの意識を高め、個人情報等の保護を徹底します。(教務、情報)
- 4 災害発生時の危険を予測し、防災教育や放射線教育を充実させます。(指導・防災)

III センター的機能の充実

- 1 地域の関係機関や保健師等と連携し、乳幼児教育相談を中心とした早期からの教育相談の充実に努めます。(地域支援セ)
- 2 教育事務所、市町村教育委員会、地域の特別支援学校の地域支援部と連携し、地域のニーズに応じた学校等支援を充実させます。(教務、研修、地域支援セ)
- 4 地域における聴覚障がい教育の専門機関として、学習会や研修会の場を地域に提供します。(研修、地域支援セ)

学校の情報を積極的に発信しています。

こちらをクリックするとホームページが御覧になれます。

<http://www.fukushima-sd-taira.fks.ed.jp/>

